

電子納品検査プログラム (USBプロテクト版) インストール手順

電子納品検査プログラムのインストール手順を解説します。

新規インストールの手順	P.2
バージョンアップの手順	P.6
プログラムのアップデート手順	P.9
【補足1】：SNS-LAN-Xプロテクトを使用される場合は	P.11
SNS-LAN-Xプロテクト 新規導入の手順	
1. システムセットアップ	P.11
2. SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）のインストール	P.13
【補足2】：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は	P.14

注意

インストールの前に、データのバックアップをおこなってください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

新規インストールの手順

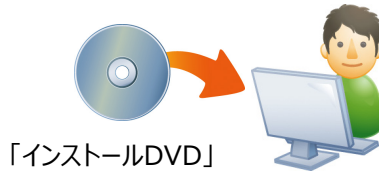
電子納品検査プログラム (USBプロテクト版)

コンピューターに、初めて電子納品検査プログラムをインストールする手順です。

(アンインストールした後に、再度インストールする場合も同様な手順になります。)

※ 「SNS-LAN-Xプロテクト」を使用される場合は、電子納品検査プログラムをインストールする前に、「SNS-LAN-Xプロテクト新規導入時の手順」(P.11)を行ってください。

- 1.** プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



※ USBプロテクトは、まだコンピューターに装着しないでください。

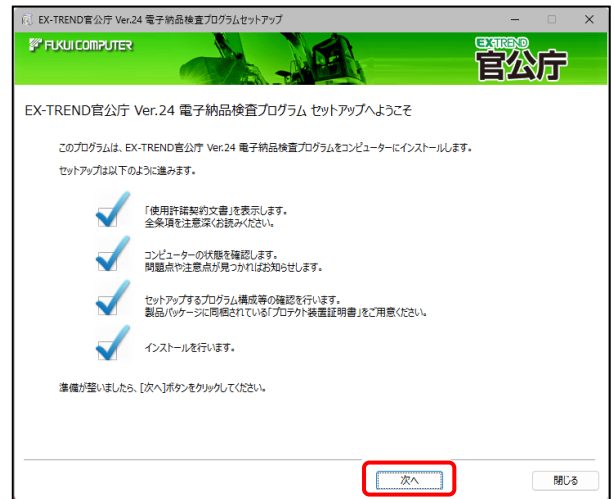
- 2.** セットアップ画面で、「電子納品検査プログラム」ボタンを押します。



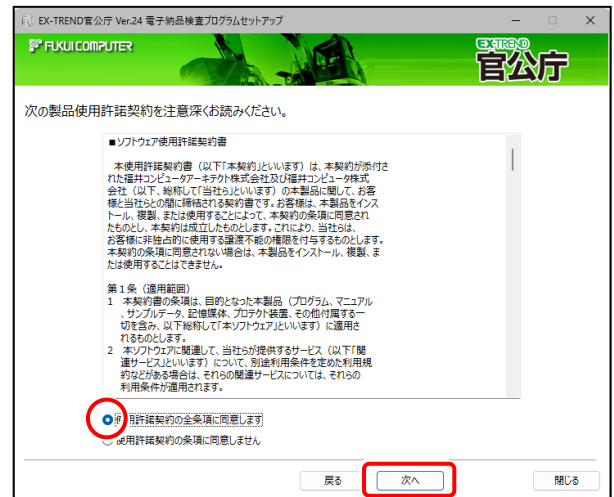
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.14「補足：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

- 3.** 表示される画面に従って、インストールを行います。



[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択して、「次へ」ボタンを押します。

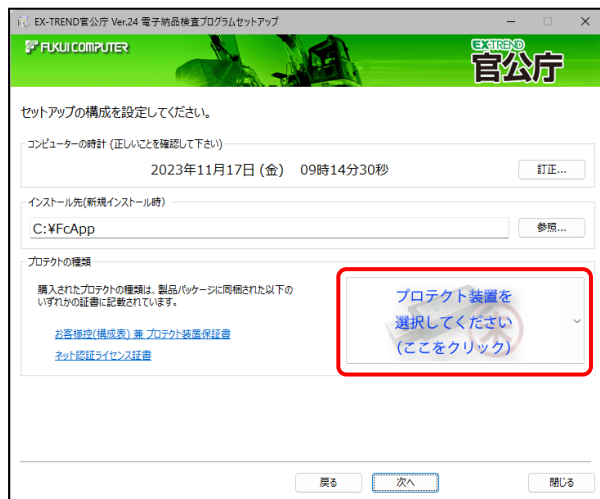


(次ページへ続く)

コンピューターの時計、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更してください。



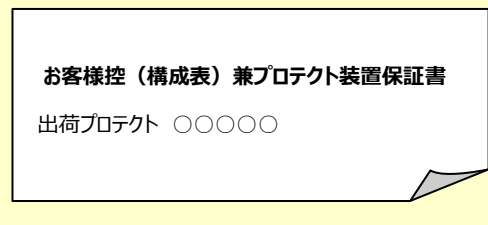
「プロテクト装置を選択してください」をクリックします。



使用するプロテクトの種類を、一覧から選択します。



※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」に記載されています。



(次ページへ続く)

内容を確認して、[次へ] を押します。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。



[作業フォルダー]

電子納品検査プログラムが、作業用に使用するフォルダーです。運用上、作業用のフォルダーが指定されている場合は、変更してください。

[共通プログラム]

アンテナハウスPDFドライバーとは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。チェックボックスをオンにすると、同時にインストールされます。

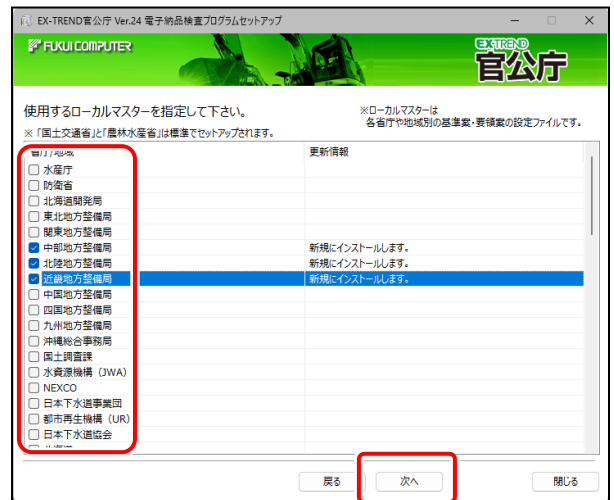
[電子納品検査プログラムのパス設定]

電子納品検査プログラムが使用するフォルダーです。運用上、各フォルダーが指定されている場合は、変更してください。

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

受発注や、納品される可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



内容を確認して、[インストール] を押します。

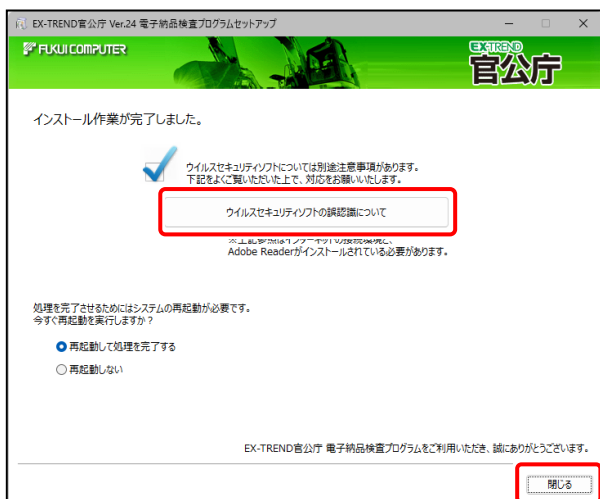


(次ページへ続く)

プログラムのインストールが、開始されます。

インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、電子納品検査プログラムが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

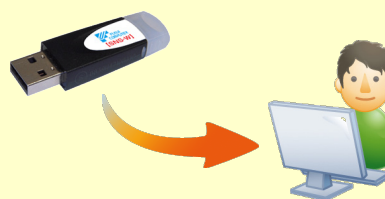
セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

USB プロテクトを装着してください

プログラムのインストールが終わったら、コンピューターにプロテクトを装着してください。

(再起動が必要な場合もあります。)

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが使用可能になります。

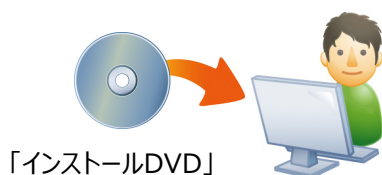


バージョンアップの手順

電子納品検査プログラム (USBプロテクト版)

旧バージョンの電子納品検査プログラムを、バージョンアップする手順です。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



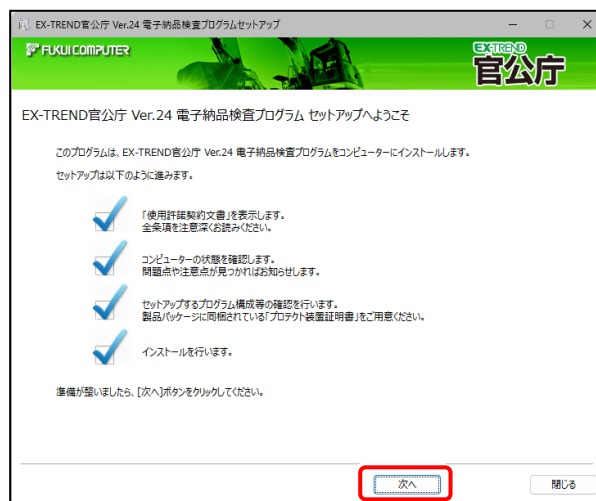
2. セットアップ画面で、「電子納品検査プログラム」ボタンを押します。



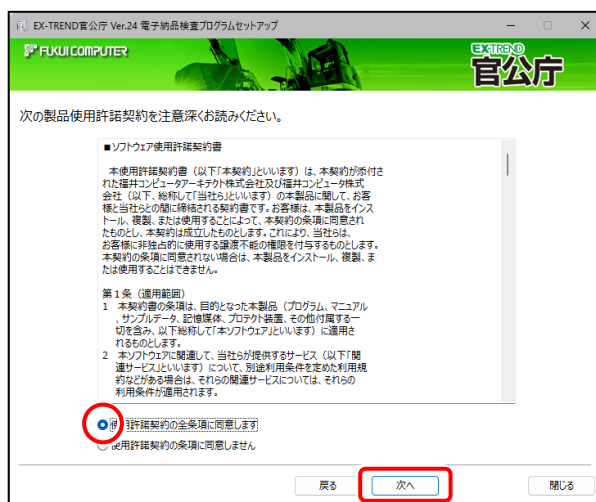
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.14「補足：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

3. 表示される画面に従って、インストールを行います。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、「次へ」ボタンを押します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計を確認します。
必要があれば変更してください。

【プロテクトの種類】に変更がある場合は、プロテクトの画像をクリックして表示される一覧から、変更後のプロテクトを選択してください。

※ プロテクトの種類は、同梱の「**お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書**」に記載されています。

お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○

内容を確認して、[次へ] を押します。

※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。

【作業フォルダー】

電子納品検査プログラムが、作業用に使用するフォルダーです。運用上で、作業用のフォルダーが指定されている場合は、変更してください。

【共通プログラム】

アンテナハウスPDFドライバーとは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。チェックボックスをオンにすると、同時にインストールされます。

(次ページへ続く)

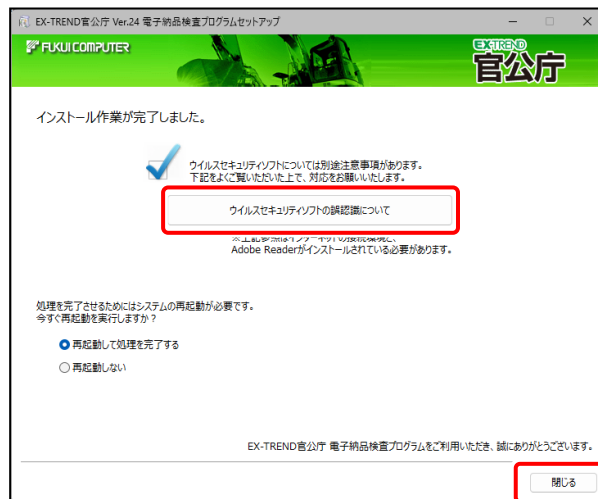
ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。
受発注や、納品される可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。
設定を終えたら、[次へ] を押します。



内容を確認して、[インストール] を押します。



プログラムのインストールが開始されます。
インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、電子納品検査プログラムが正常に動作しない場合があります。
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

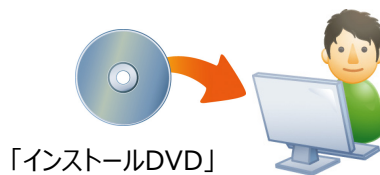
セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

プログラムのアップデート手順

電子納品検査プログラム（USBプロテクト版）

コンピューターに、同バージョンの電子納品検査プログラムがインストールされている場合のインストール方法です。
お客様の入力したデータが削除されたり、各種設定ファイルが更新されることはありません。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。

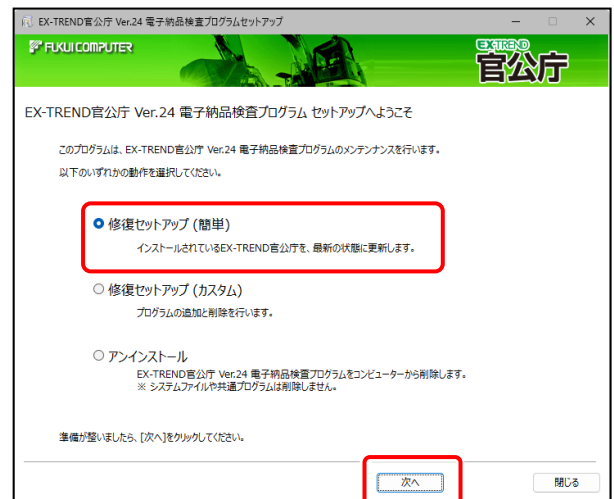


2. セットアップ画面で、「電子納品検査プログラム」ボタンを押します。



- ※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。
- ※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.14「補足：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

3. 「修復セットアップ（簡単）」を選択して、「次へ」を押します。



（次ページへ続く）

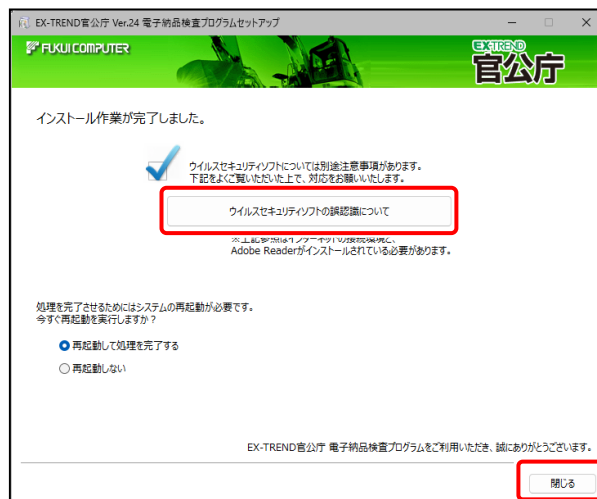
その他オプションに変更がある場合は、設定し直してください。設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[インストール]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、電子納品検査プログラムが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

【補足1】：SNS-LAN-Xプロジェクトを使用される場合は

SNS-LAN-Xプロジェクトの、「新規導入時の手順」です。
プログラムのインストールをおこなう前に、実行してください。

SNS-LAN-Xプロジェクト 新規導入時の手順 (1. システムセットアップ → 2. SNS-LAN-Xサーバーのインストール)

SNS-LAN-Xプロジェクトを装着するサーバーに、まず「SNS-LAN-Xプロジェクト」をインストールします。
その後SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）をインストールします。

1. システムセットアップ

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



※ 重要！！

USBプロジェクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。

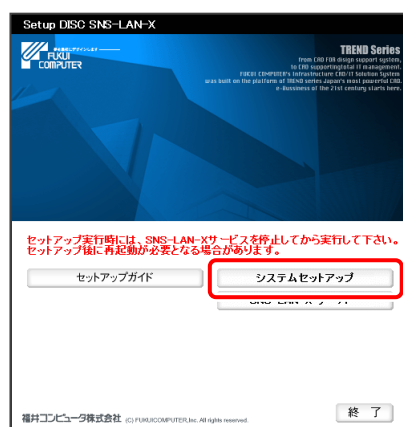


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」 をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入時に発送される「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用してください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップしたプログラムや追加購入したプログラムが動かなくなる場合があります。)

2. セットアップ画面の「システムセットアップ」ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の「Install.exe」を実行してください。

「SNS-LAN-X」で使用するポートについて

「SNS-LAN-X」では、UDPの「5093」ポートを使用して通信を行います。



(次ページへ続きます)

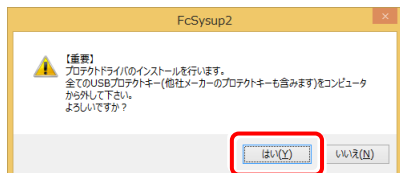
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X] ボタンを押します。



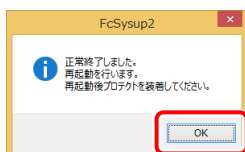
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



※ 重要！！

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してサーバーを再起動します。



4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。

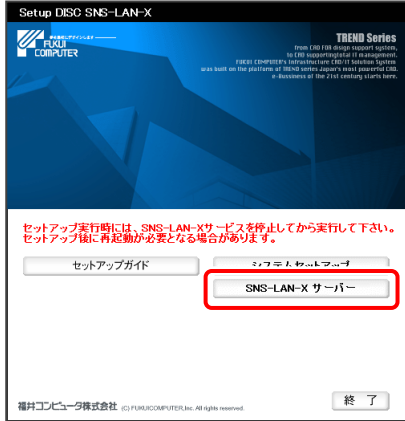


自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

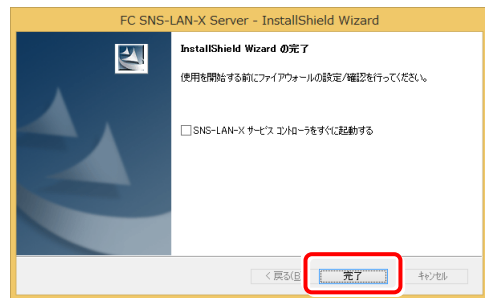
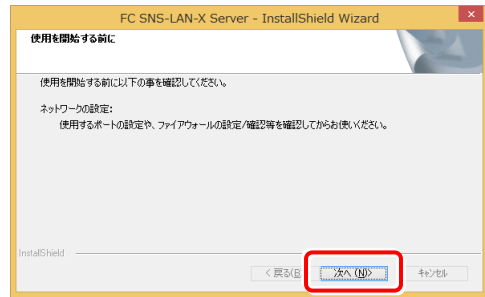
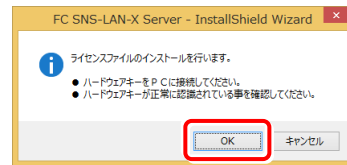
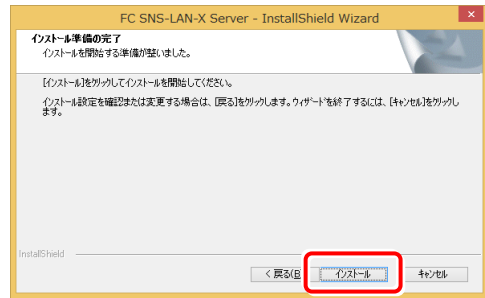
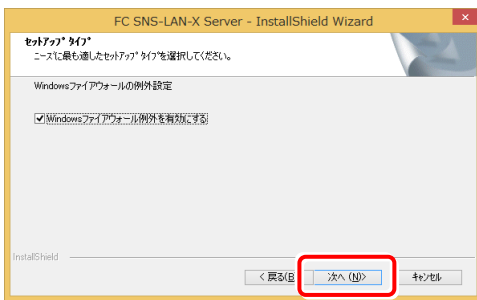
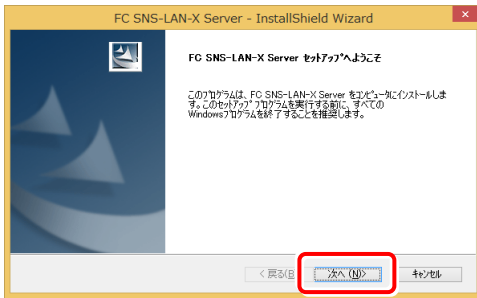
(次ページ「Step2」へ進みます)

2. SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）のインストール

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、
[SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



SNS-LAN-Xプロテクトの新規導入は、以上で完了です。
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

【補足2】：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は

インストールする環境（セキュリティ環境など）によっては、セットアップ画面のボタンを押しても反応が何もない場合があります。その場合は下の図と表を参考に、インストールDVD内の実行ファイル（.exe）を直接実行して、プログラムをインストールしてください。

表内の赤字部分は引数です

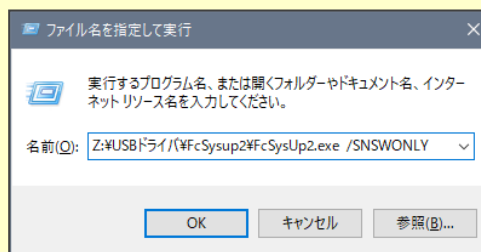
下表の実行ファイルに赤字で書かれている文字は「引数」です。

引数を含めて実行する場合は「ファイル名を指定して実行」で、ドライブ名も含めたパスを入力して実行します。

例) DVDドライブが「Z」の場合

Z:¥USBドライブ¥FcSysup2¥FcSysUp2.exe /SNSWONLY

※ 「ファイル名を指定して実行」は、キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押して表示します。



No.	【製品インストール】タブ	実行ファイル（パス）
①	電子納品検査プログラム	GtFEnou¥EX-GLoader.exe
②	建設CAD	Musashi¥Setup.exe
③	写真管理	GtAlbum¥Setup.exe
④	各種ツール	ツール¥Packages¥LMenu.exe



No.	[その他インストーラー] タブ	実行ファイル (パス)
5	USBプロテクトセットアップ	USBドライバ¥FcSysup2¥FcSysUp2.exe /SNSWONLY
6	ネット認証ライセンス	Net¥FcSysup2¥FCSysUpMain.exe
7	ネット認証ライセンス LANモード サーバー	Fcnets¥DLAS-LAN-SERVICE Setup.exe
8	CIMPHONY Plus連携ツール	GtAlbum¥CIMPHONY Plus¥setup.exe
9	TREND-ONE⇒建設CADコンバーター	BMLink¥setup.exe
10	建設CAD サーバー	Musashi¥Setup.exe SERVER
11	TS出来形検査ツール	ツール¥Packages¥TS出来形検査ツール¥TSINSPECT1004.exe
12	Antenna House PDF Driver 8.0	PDF¥AHPDFDriverSetup.exe /AHPD /SHOWUI
13	各種資料のインストール	ET武蔵¥土木各種資料¥setup.exe